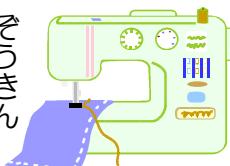


令和四年度 学校文集【令和四年五月】

# ひらやま二号

音のすみべやく



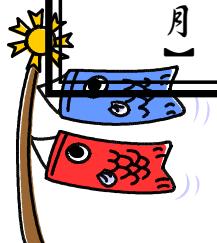
【令和四年五月】

二号

笑ったよね。

「この服を着てた日は泣いて帰つたよね。」

「次々に、たくさん出来事を思ひだし、この服を捨てると思うと悲しくなつた。思い出まで消えてきそうで、そんな思いを母に伝えたよ。」



【夕刊デイリー『光の子』  
令和四年四月二十三日】

音楽でワクワク  
三年三組 布井奏多

ぼくが好きな教科は、音楽です。なぜかというと、歌つたりえんそうしたりするのが楽しいからです。

二年生の時に、みんなで「こぎつね」をけんばんハーモニカでひきました。そのとき、ぼくはまちがえずにひけたのでうれしい気もちになりました。けれど、もつともち

ぼくは、学校に行くときにたまに、キジバトを見つけます。鳴き方は、「チー、チー、ポッポ」と鳴きます。

家に帰って図かんで調べてきました。「まち中でふつうにみられる、もつともみなハトです」と書いてありました。キジバトは、ハト科の鳥です。

図かんによれば、「北きょくや、南きよくなどのきょくたんにさむいところ以外ならば、ちきゅう上のあらゆる場しょに生ぐするそれがハトです」「ハト





【富崎日日新聞『若狭田』  
令和四年四月三十日】

A cartoon illustration showing three children in a music room. On the left, a boy in a striped shirt and blue shorts plays a harmonica. In the center, a girl in a green sweater and blue shorts plays a recorder. On the right, a teacher with brown hair in a pink dress holds a blue xylophone. The teacher is smiling and looking at the children.



【宮崎田日新聞「若い田」】  
令和四年五月三日

空ってすごい。見てるだけでおちつく。そんな空が好きだ。  
この作文を見てる人、空は好き? イメージするだけでおちつき。  
空には雲がある。いろいろな形だ。ハートや丸や長細い雲もある。  
雲って不思議だ。天気によつて気分も変わる。晴れはウキウキ、雨はどんより、くもりはおちつく。天気はすごい。  
人の気分も変わる。だから空が好き。



空は広い。  
どこまでもずっと  
続く。私も空みた  
人にどこまでも続  
く。広い心になりた  
う。そう思うこと  
人生に一度はだ  
すつとそう思つて  
この作文を見て  
この時、かかなし  
いつと空がきみを  
明日は、どんなを

【夕刊「テイリー『光の子』  
令和四年四月二十二日】